

様式第 1

該当するもの以外を二重取り消し線

ばい煙発生施設設置（~~使用、変更~~）届出書

平成28年11月30日

〇〇保健所長 殿

提出先の保健所長

提出日
(設置、変更：届出後、60日を経過後に設置等可)
(使用：施設となった日から30日以内)

郵便番号(●●●●-●●●●●●)
那覇市泉崎1丁目〇-〇
届出者 株式会社〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号(●●●●-●●●●-●●●●●●)
(氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名)



大気汚染防止法第6条第1項（~~第7条第1項、第8条第1項~~）の規定により、ばい煙発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇清掃組合	※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地	沖縄県〇〇市〇〇	※ 受理年月日	
ばい煙発生施設の種別	13 廃棄物焼却炉二基	※ 施設番号	
ばい煙発生施設の構造	別紙1のとおり。	※ 審査結果	
ばい煙発生施設の使用の方法	別紙2のとおり。	※ 備考	
ばい煙の処理の方法	別紙3のとおり。	連絡先	

大気汚染防止法施行令別表1に記載されている項番号及び施設名を記入する

- 備考 1 ばい煙発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1に掲げる項番号及び名称を記載すること。
 2 ※印の欄には、記載しないこと。
 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、函面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
 5 氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあってはその代表者の氏名）が署名することができる。

ばい煙発生施設の構造

事業場での施設番号
なければ、通し番号

工場又は事業場における施設番号		1号炉	2号炉
名称及び型式		廃棄物焼却炉 機械化バッチ 燃焼式	廃棄物焼却炉 機械化バッチ燃 焼式
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		平成〇年〇月〇日	平成〇年〇月〇日
使用開始予定年月日		平成〇年〇月〇日	平成〇年〇月〇日
規 模	伝熱面積 (m ²)		
	燃料の燃焼能力(重油換算 L/h)		
	原料の処理能力 (t / h)		
	火格子面積又は羽口面断面積 (m ²)	8.0	8.0
	変圧器の定格容量 (K V A)		
	触媒に付着する炭素の燃焼能力 (k g / h)		
	焼却能力 (k g / h)	1000kg/h	1000kg/h
	乾燥施設の容量 (m ³)		
	電流容量 (K A)		
	ポンプの動力 (K W)		
合成・漂白・濃縮能力 (kg/h)			

該当する施設の規模を記入

(廃棄物焼却炉の場合は、火格子面積、焼却能力)

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第 1 の中欄に掲げる施設の当該下欄規定する項目について記載すること。
- 3 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、本工業規格 A4 の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

事業場での施設番号
なければ、通し番号

2台あるときの記入方
法。更に台数がある場合
は、本様式を追加。

ばい煙発生施設 使用の方法

工場又は事業場における施設番号		1号炉		2号炉			
使用状況	1日の使用時間及び月 使用日数等	8時～ 17時 8時間/回 一回/日22日/月		8時～ 17時 8時間/回 一回/日22日/月			
	季節変動	無し		無し			
原材料 (ばい煙の 発生に影響 のあるもの に限る。)	種類	都市廃棄物		都市廃棄物			
	使用割合	100%		70%			
	原材料中の成分割合	いおう分 0.06 カドミウム分	鉛分 弗素分	いおう分 0.06 カドミウム分	鉛分 弗素分		
	1日の使用量	6t/8h		6t/8h			
燃料又 は電力	種類			A重油			
	燃料中の成分割合 (%)	灰分	いおう分	窒素分	灰分	いおう分	窒素分
	発熱量			45,820 kJ/kg			
	通常の使用量			44.3 L/h			
	混焼割合			30%			
排出ガス量(m ³ N/h)	湿り	最大 11000	通常 9000	最大 10000	通常 8000		
	乾き	最大 7000	通常 5000	最大 6000	通常 4000		
排出ガス温度(℃)		200		200			
排出ガス中の酸素濃度(%)		10		4			
ばい煙 の濃度	ばいじん (g/m ³ N)	最大 0.05	通常 0.05	最大 0.05	通常 0.05		
	いおう酸化物 (容量比ppm)	最大 12	通常 12	最大 12	通常 12		
	カドミウム及びその化合物 (mg/m ³ N)	最大	通常	最大	通常		
	塩素 (mg/m ³ N)	最大	通常	最大	通常		
	塩化水素 (mg/m ³ N)	最大 150	通常 100	最大 150	通常 150		
	弗素弗化水素及び弗 化珪素 (mg/m ³ N)	最大	通常	最大	通常		
	鉛及びその化合物 (mg/m ³ N)	最大	通常	最大	通常		
	窒素酸化物 (容量比ppm)	最大 250	通常 250	最大 180	通常 180		
ばい煙量	いおう酸化物 (m ³ N/h)	最大 0.04	通常 0.04	最大	通常		
参考事項							

備考 1 原材料中の成分割合(%)の欄及び燃料中の成分割合の欄の記載にあ

たっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。

2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処

4 参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動の発生、工程
中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載
するほか、ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関又はガソリン機関については、
常用又は非常用(専ら非常時において用いられるものをいう。)の別を明らかにす
ること。

メーカーから示された
数値や算定により記
入。

ばい煙処理の方法

事業場での施設番号
なければ、通し番号

処理施設の工場 又は事業所における施設番号			集じん機 1 号	集じん機 2 号	
処理に係るばい煙発生施設の工場 又は事業所における施設番号			集じん機 1 号	集じん機 2 号	
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式			集じん装置 〇〇式集じん機	集じん装置 〇〇式集じん機	
設置年月日			年 月 日	年 月 日	
着手予定年月日			平成〇年〇月〇日	平成〇年〇月〇日	
使用開始予定年月日			平成〇年〇月〇日	平成〇年〇月〇日	
処理能力	排出ガス量 (m ³ N/h)	最大	11000	10000	
		通常	9000	8000	
	排出ガス温度 (°C)	処理前	200	200	
		処理後	190	190	
	ばいじん (g/m ³ N)	処理前	9	9	
		処理後	0.05	0.05	
	いおう酸化物 (容量比 ppm)	処理前	80	90	
		処理後	12	13.5	
	カドミウム及び その化合物(mg/m ³ N)	処理前			
		処理後			
	塩素 (mg/m ³ N)	処理前			
		処理後			
	塩化水素 (mg/m ³ N)	処理前	3000	3000	
		処理後	150	150	
	弗素、弗化水素及び 弗化珪素(mg/m ³ N)	処理前			
		処理後			
	鉛及びその化合物 (mg/m ³ N)	処理前			
		処理後			
	窒素酸化物 (容量比 ppm)	処理前	3000	2500	
		処理後	250	180	
ばい煙量	いおう酸化物 (m ³ N/h)	最大	処理前	0.1	0.15
		最大	処理後	0.04	0.03
		通常	処理前	0.1	0.15
		通常	処理後	0.04	0.03
捕集効率 (%)	ばいじん		99	99	
	いおう酸化物		85	85	
	カドミウム及びその化合物				
	塩素				
	塩化水素		95	95	
	弗素、弗化水素及び弗化珪素				
	鉛及びその化合物				
窒素酸化物		91.6	92.8		
使用状況	1 日の使用時間 及び月使用日数等		8 時～ 17 時 8 時間/回 1 回/日 22 日 /月	8 時～ 17 時 8 時間/回 1 回/日 22 日 /月	
	季節変動		無し	無し	
排出口の実高さ H _o (m)			60	60	
補正された排出口の高さ H _e (m)			63	63	
排出速度 (m / s)			17	17	

該当する方法を記入

- 備考
- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
 - 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
 - 3 補正された排出口の高さ H_e は、大気汚染防止法施行規則第 3 条第 2 項の算式により算定すること。
 - 4 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添附すること。

添付書類

様式第 1

- ・ 付近の見取り図及び所在地を示す縮尺 5 万分の 1 の地形図
- ・ 事業場内における施設の配置図
- ・ ばい煙発生施設の設置位置がわかる見取り図
- ・ 緊急連絡用の電話番号その他緊急時における連絡方法

別紙 1

- ・ ばい煙発生施設（廃棄物焼却炉）の構造図、操業の系統図（廃棄物焼却炉の使用方法がわかる物）

別紙 2

- ・ 使用する原料の性状がわかる物。
- ・ ばい煙濃度の数値の根拠となるデータの写し
- ・ ばい煙濃度の計算式

別紙 3

- ・ ばい煙処理施設の設置位置がわかる見取り図
- ・ ばい煙処理施設の構造図（煙突の高さ、口径、ばい煙測定口の位置がわかる物）
- ・ ばい煙処理施設（煙突を除く）の処理能力が分かる資料（カタログ、計算式等）